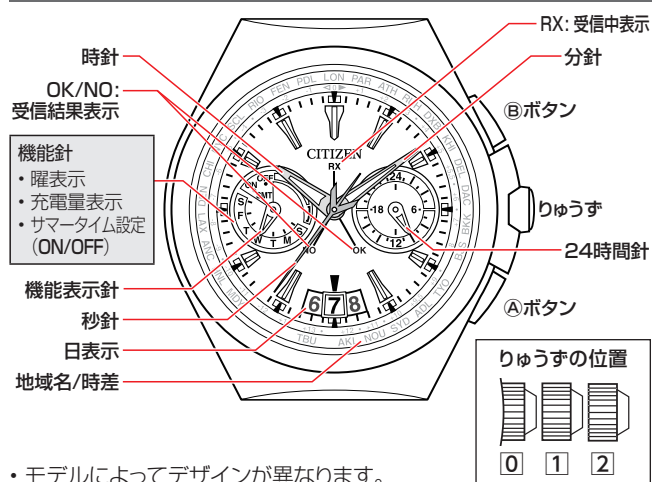


H950 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 H950取扱説明書

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。

衛星から電波を受信する *位置情報は取得しません

手動受信 1

衛星からの電波を受信するため、受信は屋外で行うことをお勧めいたします。

1. りゅうずの位置を①にする

2. ① ボタンを2秒以上押す

秒針の尾が前回の受信結果(OK / NO)を指した後、「RX」を指し、受信を始めます。

表示	受信結果
OK	修正された時刻を表示します。
NO	時刻は修正されず、受信操作を行う前の時刻表示に戻ります。

手動受信 2

うるう秒が更新されたときに、お使いください。

1. りゅうずの位置を①にする

2. ① ボタンを7秒以上押す

秒針の尾が前回の受信結果(OK / NO)を指した後、「RX」を指します。秒針がもう一周して「RX」を指すまで押し続けてください。

前回の衛星電波の受信結果を確認する

1. りゅうずの位置を①にする

2. ① ボタンを押す

秒針の尾が前回の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	修正された時刻を表示します。
NO	時刻は修正されず、受信操作を行う前の時刻表示に戻ります。

3. ① ボタンを押して、終了する

ワールドタイムの使い方

ワールドタイム設定を確認する

1. りゅうずの位置を①にする

2. ② ボタンを押す

秒針が現在のワールドタイムの設定、機能表示針がサマータイム設定を示します。

3. ② ボタンを押して確認を終了する

- 何の操作もしないまま約10秒たつと自動的に通常時刻表示にもどります。

ワールドタイムを設定する

1. りゅうずの位置を①にする

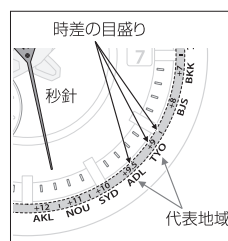
秒針が現在のワールドタイム設定を指し、機能針がサマータイム設定を指します。

2. りゅうずを回して、時差を設定する

- 時差の設定については、「時差の表示の見かた」と「時差と代表地域の表」をご覧ください。
- 時差の設定を変更することに、時刻・日が切り替わります。

3. りゅうずの位置を①にして、終了する

時差の表示の見かた



時計上には、時差の目盛りが40あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。

図では、秒針が28秒を指して、時差の設定は「+11.5」になっています。

- 時差は、UTC(協定世界時)基準になっています。

時差と代表地域の表

UTC基準の時差	秒針の位置	表記	代表地域	UTC基準の時差	秒針の位置	表記	代表地域
0	0秒	LON	ロンドン	+12	29秒	AKL	オークランド
+1	2秒	PAR	パリ	+12.75	31秒	—	チャタム諸島
+2	4秒	ATH	アテネ	+13	32秒	TBU	ヌクアロファ
+3	6秒	RUH	リヤド	+14	34秒	—	クリスマス島
+3.5	7秒	—	テヘラン	-12	36秒	—	ペーカール島
+4	8秒	DXB	ドバイ	-11	38秒	MDY	ミッドウェイ諸島
+4.5	9秒	—	カブール	-10	40秒	HNL	ホノルル
+5	10秒	KHI	カラチ	-9.5	41秒	—	マルケサス諸島
+5.5	12秒	DEL	デリー	-9	42秒	ANC	アンカレジ
+5.75	13秒	—	カトマンズ	-8	44秒	LAX	ロサンゼルス
+6	14秒	DAC	ダッカ	-7	46秒	DEN	デンバー
+6.5	15秒	—	ヤンゴン	-6	48秒	CHI	シカゴ
+7	16秒	BKK	バンコク	-5	50秒	NYC	ニューヨーク
+8	18秒	BJS(HKG)	北京/香港	-4.5	51秒	—	カラカス
+8.75	20秒	—	ユークラ	-4	52秒	SCL	サンティアゴ
+9	21秒	TYO	東京	-3.5	53秒	—	セント・ジョンズ
+9.5	23秒	ADL	アデレード	-3	54秒	RIO	リオデジャネイロ
+10	25秒	SYD	シドニー	-2	56秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
+10.5	26秒	—	ロード・ハウ島	-1	58秒	PDL	アゾレス諸島
+11	27秒	NOU	ヌーメア				
+11.5	28秒	—	ノーフォーク島				

サマータイムと標準時刻を切り替える

サマータイム設定を確認する

1. リゅうずの位置を①にする
2. ⑥ ボタンを押す

設定	内容
SMT ON	サマータイムが表示されます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。

3. ⑥ ボタンを押して、確認を終了する

サマータイム設定を変更する

1. リゅうずの位置を①にする
2. ④ ボタンを押してサマータイムON/OFFを切り替える

設定	内容
SMT ON	サマータイムが表示されます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。

・ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り替わります。

3. リゅうずの位置を①にして、設定を終了する

うるう秒を設定する

1. リゅうずの位置を②にする

2. ⑥ ボタンを押す

秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「-35秒」のとき 「0分35秒」を指します。	うるう秒の設定が「-65秒」のとき 「1分5秒」を指します。
------------------------------------	-----------------------------------

うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正します。

3. リゅうずの位置を①にして、終了する

時刻・カレンダーを手動で合わせる

電波が受信できないときなど、時刻 / カレンダーを手動で合わせます。

1. リゅうずの位置を②にする

秒針が30秒位置に移動します。

2. ④ ボタンを押す

秒針が0秒位置に移動し、時刻 / カレンダー合わせができるようになります。

3. ④ ボタンを押して、修正する対象を選ぶ

4. リゅうずを回して、各設定を合わせる

分針→時針 / 24時間針→日→年月→曜→(始めに戻る)

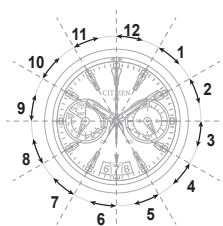
5. 手順3と4をくり返す

6. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして設定を終了する

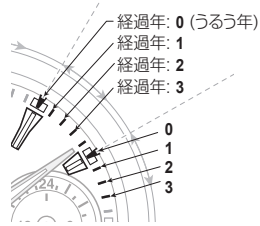
年と月の表示について

年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。
各数字が月に対応します。



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りで表示されます。



うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

充電量を確認する

1. リゅうずの位置を①にする

2. ④ ボタンを押す

機能表示針が充電量を示します。

表示				
接続時間	約2年～1年 十分充電されている。	約1年～16日 安心して使える。	約16～10日 そろそろなくなる。	約10日 ほとんどない。 すぐに充電が必要です。

3. ④ ボタンを押して、確認を終了する

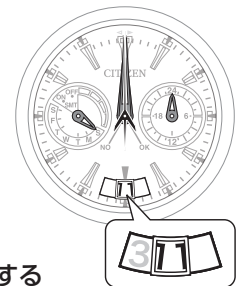
基準位置を確認する

1. リゅうずの位置を①にする

2. ⑥ ボタンを7秒間押し続ける

正しい基準位置:

- ・すべての針: 12時位置
- ・24時間針: 24時
- ・日表示: 「31」と「1」の間
- ・曜: 日曜日



3. ⑥ ボタンを押して、確認を終了する

基準位置を修正する

1. リゅうずの位置を①にする

2. ⑥ ボタンを7秒間押し続ける

3. リゅうずの位置を②にする

4. ④ ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ・④ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
曜 / 日→時針 / 24時間針→秒針 / 分針→(始めに戻る)

5. リゅうずを回して、針/表示を修正する

- ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。
・動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6. リゅうずの位置を①にする

7. ⑥ ボタンを押して、終了する

オールリセットを行う

1. リゅうずの位置を②にする

2. ④ ボタンと⑥ ボタンを3秒間以上押して、離す

秒針が0秒の位置まで動き、その他の針と日がわずかに動いてオールリセットされます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、ワールドタイムの設定を行い、手動で電波を受信して、時刻とカレンダーを合わせ直してください。